

令和5年度 事業報告

第1 公益目的事業

本学院は、各種詩歌等の吟詠法に関する科学的研究と、その指導法及び作詩法の研究指導機関としての役割を全うするため、広く吟道指導者を育成指導し、不特定多数の者に吟道の普及振興を図ることを目的として、以下の公益目的事業を行った。

1 吟道に関する研修会、講習会及び大会の開催

一 研修会・講習会

(1) 日本吟道夏季大学講座

詩歌吟詠法及び作詩の理論と実技の指導のため、次の通り開催した。会場受講以外に、オンラインによる受講、視聴覚教材（ブルーレイ）を活用した講座とした。

令和5年8月25日（金）及び26日（土）の2日間

東京都江戸川区 江戸川区総合文化センター

参加人員 350名

(2) 吟行研修会

本年度は秋田市で全国大会を開催したこともあり、岩手県花巻市にある宮沢賢治記念館のほか、松尾芭蕉の句でも有名な平泉町にある中尊寺、毛越寺などの旧跡を訪れ、その歴史や詩文などの情景・作者の詩心に対する理解を深めた。

令和5年5月12日（金）から14日（日）の3日間

秋田県秋田市 あきた芸術劇場ミルハス

岩手県花巻市 宮沢賢治記念館

岩手県平泉町 中尊寺、毛越寺

参加人員 300名

(3) 中国国際詩歌節

「中国馬鞍山李白詩歌節中日詩吟交流大会（安徽省馬鞍山市）」にリモート参加し、中国の漢詩のより深い理解に努め日中友好を図る予定であったが、同国のゼロコロナ後の政情不安等により中止となった。

(4) 地区吟道一般講習会

詩歌吟詠に関する研鑽を深め広く吟道を普及するため、各地区が主体となり講習会の計画を立て、下記の通り開催した。

① 南部九州地区

令和5年6月25日（日） 鹿児島県谷山市 谷山市民会館

② 三重地区

令和5年7月23日（日） 三重県鈴鹿市 鈴鹿市防災センター

③ 中部地区

令和5年7月30日（日） 愛知県安城市 安城市昭林公民館

④ 埼玉地区

令和5年11月12日（日） 埼玉県さいたま市東大宮コミュニティセンター

- ⑤ 北関東地区
令和5年12月3日(日) 群馬県渋川市 渋川市子持公民館
 - ⑥ 千葉・茨城地区
令和6年2月3日(土) 東京都葛飾区 新小岩地域活動センター
 - ⑦ 神奈川・山梨地区
令和6年2月24日(土) 神奈川県横浜市 横浜市社会福祉センター
 - ⑧ 東京地区
令和6年3月16日(土) 東京都江戸川区 小松川区民館
- 以上8地区の参加人員は、延べ450名

(5) 指導者育成推進講習会

(5) — 1 指導者育成推進講習会

吟道の全国的普及を図るため、地域における指導者の育成及び指導力の強化を図ることを目的として、全国各地で研修を行った。

- ① 北海道地区
令和5年6月21日(水) 北海道札幌市 オンライン開催
 - ② 北陸地区
令和5年7月30日(日) 富山県射水市 大門総合会館
 - ③ 神奈川・山梨地区
令和5年8月11日(金) 神奈川県横浜市 横浜市社会福祉センター
 - ④ 北関東地区
令和5年8月20日(日) 群馬県渋川市 渋川市子持公民館
 - ⑤ 北部九州地区
令和5年9月3日(日) 福岡県北九州市 黒崎コムシティ
 - ⑥ 東北地区
令和5年11月18日(土) 青森県青森市
ゆきわり会生活保護事務所 WAKO
 - ⑦ 南関東地区
令和5年11月23日(木) 東京都江戸川区 小松川区民館
 - ⑧ 南部九州地区
令和6年2月4日(日) 鹿児島県鹿児島市 マリンパレスかごしま
- 以上8地区の参加人員は、延べ400名

(5) — 2 吟道普及実践教室

吟道普及実践者としての「真に指導にあたる指導者」を育成するため、本部主導の本格的指導者育成機関として「吟道普及実践教室至誠塾」を令和4年4月に開塾し、2年間のカリキュラムを終了した。

教室：日本吟道会館ホール
 講師：当学院理事長・最高顧問等
 塾生：通塾生20名、オンライン塾生13名
 今年度の学習単位：23単位(1単位：3時間)
 卒塾式：令和6年3月27日(水)

(6) 伴奏講習会

吟詠の音楽性を向上せしめるため、指導上や種々の発表会や愛好者個々の練習時に携帯可能なコンダクターの講習会を初級者向けに実施した。

- ① 令和5年7月16日(日) 東京都文京区 日本吟道会館 参加者30名
- ② 令和5年9月10日(日) 東京都文京区 同上 参加者32名
- ③ 令和5年11月5日(日) 東京都文京区 同上 参加者27名

二 吟道に関する大会の開催

日頃の吟道精進の成果を披露し、また、他人の吟詠を聴き研鑽に励み吟詠の魅力を広く周知して吟道の普及に資するため下記諸大会を開催した。

(1) 日本吟道全国大会

全国の会員を対象に、第73回日本吟道全国大会を開催した。

令和5年5月13日(土) 秋田県秋田市 あきた芸術劇場ミルハス
参加人員 500名

(2) 日本吟道青少年全国大会&壮心の集い

幼少年及び青年を対象に第59回日本吟道青少年全国大会を行った。同時に各地区の壮心大会で選出又は推薦された代表者により壮心の集いを行った。

令和6年3月23日(土) 東京都江戸川区 タワーホール船堀
参加人員 80名

(3) 日本吟道女流全国大会

女性の吟道愛好家を増加させるとともに、一般の人々への更なる吟詠の普及を目的として、女流吟道振興委員会の本部役員を中心として年1回の全国大会を開催してきた。その結果、女性会員の比率が高まってきたことに加え、ジェンダー平等が叫ばれるようになったことから女性だけに的を絞る本大会開催は中止した。

(4) 日本吟道名吟大会

レベルの高い会員及び会員以外の吟詠家を招いて、会員の吟詠力向上と、一般の人々に対する吟詠の普及を図ることを目的として、第27回日本吟道名吟大会を行った。

令和5年10月12日(木) 埼玉県川口市 川口総合文化センター
参加人員450名

(5) 日本吟道全国吟詠コンクール決勝大会

全国各地区より選抜された会員による、日本吟道全国吟詠コンクール決勝大会を行った。

令和5年10月12日(木) 埼玉県川口市 川口総合文化センター
参加人員94名(出吟者)

※ (4) 及び (5) については、同時開催とした。

(6) 日本吟道壮心大会

原則として65才以上を対象に、各地区が主体となって日本吟道壮心大会を行った。

2 吟道に関する普及活動への支援

吟道の普及活動を行うに当たり、全体的に活性化された活動が行われるよう、人的、財政的支援を行った。

一 公認団体の吟道大会の支援

公認団体の周年行事に際して、本部からの役員の派遣及び大会経費の一部助成等の支援

- ① 暁友会飛騨本部創立50周年記念大会
- ② 玉龍吟道会創立45周年記念吟道大会
- ③ 吟星会創立55周年大会

二 地域活性化、吟道普及につながる事業の支援

三 各地の敬老会、養護施設、学校その他への慰問・指導

3 吟道に関する調査研究及び広報事業

本学院は、各種詩歌等の吟詠法に関する科学的研究及びその指導法並びに作詩法の研究・指導機関として、「新世紀の吟詠研究会」を中心とした研究活動を行うとともに、その成果等については広報誌等を通じて公表した。

一 吟道に関する調査研究

詩歌吟詠法及び作詩法に関する研究会

- (1) 新世紀の詩歌吟詠法及び作詩法に関し、吟詠研究会を行った。

- ①令和5年6月25日(日) 東京都文京区 日本吟道会館
- ②令和5年9月17日(日) 同上
- ③令和5年12月17日(日) 同上
- ④令和6年3月17日(日) 同上

以上4回の参加人員は、延べ107名

- (2) その他の調査研究

その他、必要に応じて随時調査研究会を行った。

二 広報事業

不特定多数の人に吟詠を普及するため、吟道に関する次の広報事業を行った。

- (1) 広報誌「日本吟道」の刊行
- (2) 詩歌吟詠に関する出版物の刊行
- (3) ホームページによる広報活動
- (4) その他、マスコミ、公共団体等を活用した広報活動

第2 収益事業等

公益目的事業を補完し、これを積極的に推進するため、次の収益事業及び共益事業を行った。

1 収益事業

- 一 吟道に関する教本及び教材並びに物品等の販売
- 二 段級位、伝位及び師範位の認定

- (1) 吟詠の技術の向上に伴い、段級位、伝位の認定を行った。
- (2) 指導技術の向上に伴い、師範位の認定を行った。

2 共益事業

主として本学院の会員を対象とする次の事業を行った。

一 功労者の顕彰及び表彰

- (1) 吟道発展に寄与し、特に功労顕著な者に冠称を贈り顕彰した。
- (2) 吟道普及に功績のあった公認団体の代表者に対して感謝状を贈り表彰した。
- (3) 吟道普及に功績のあった会員を褒賞した。
- (4) 吟道普及に功績のあった公認団体を表彰した。
- (5) 永年にわたり吟道を研鑽した高齢者を表彰した。
- (6) その他、随時、吟道普及に功績のあった会員を表彰した。

二 正会員吟道大会

正会員を対象として、総会開催時に正会員吟道大会を開催した。

令和5年6月11日（日） 東京都千代田区 主婦会館

三 新春賀詞交歓会

令和6年1月8日（月） 東京都文京区 日本吟道会館

3 その他、目的を達成するために必要な事業

一 記録の制作と保存

本学院の事業等に関する吟詠等を記録保存した。

二 関連する他団体の主催する事業への参加

(公財) 日本吟剣詩舞振興会主催の全国吟詠合吟コンクールに参加した。

令和5年12月10日（日） 東京都北区 北とぴあ

三 その他、目的を達成するために必要な事業を行った。

以 上